



# 手を診る力(ちから)を鍛える

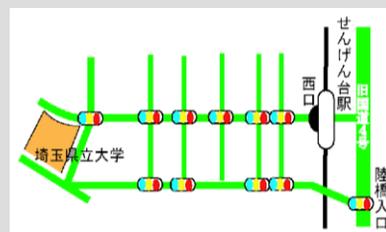
—手のかたち・手の動き、診断への手ほどき—

『NOMA手・上肢機能診断』の中核部分をなす“手のかたち・手の動き”の診断について、考え方、観察のポイントを解説します。日常小物を使っての観察実習も行います。

小実習では、参加者ご自身の目と手を使って、“健常な手のかたちと動きの類型”をしっかりと脳に焼きつけて頂けるよう努めます。

『NOMA手・上肢機能診断』を使う、使わないにかかわらず、とくに脳原性疾患の手・上肢機能障害の診断と治療に役立てて頂くことができます。

**主催** NOMAハンド・ラボ（代表：鎌倉 矩子 & 中田 眞由美）  
**日時** 20010年11月7日(日) 10:00～16:00  
**場所** 埼玉県立大学：越谷市三野宮820番地 電話048-971-0500(代)  
 (http://www.spu.ac.jp)「大学へのアクセス」をご覧ください  
 東武伊勢崎線 せんげん台駅下車  
 西口より バス5分 片道170円(埼玉県立大行き) or 徒歩20分



**参加費** 5000円(実習小物、配布資料代を含みます)  
**定員** 約50名(原則として先着順)

プログラム	内容	講師
10:00	開会	大滝 恭子
10:05～12:00	1) 手のかたちと動き—その基本類型の理解 2) 健常な手の静的なフォーム	鎌倉 矩子
12:00～13:00	(昼休み)	
13:00～13:45	3) 健常な手の動きのパターン	鎌倉 矩子
13:45～14:45	4) フォーム・パターンの表記法を使ってできること	中田 眞由美
14:45～15:00	(休憩)	
15:00～15:45	5) 『NOMA手・上肢機能診断』の概要	中田 眞由美
15:45～16:00	Q&A	山口 美樹

(「日本作業療法士協会指定講習」申請を検討中)

◎お申し込みはメールで。但しケータイからのお申し込みはお断りします。件名に「NOMA2010秋期セミナー」と書き、①氏名、②所属機関名、③②の所在地、④電話番号、⑤実践領域と経験年数、⑥メールアドレス(但しパソコンアドレスのみ)、⑦参加希望の動機、⑧お弁当希望の有無(600円程度、お茶つき)を記して送ってください。宛先は: [noma@spu.ac.jp](mailto:noma@spu.ac.jp)

◎お申し込みの締め切り: 10月17日(日) 24:00

◎お申し込みの諾否が決定した時点で、すぐにお申し込みのメールアドレス宛に返信いたします。

※問い合わせ先: ……埼玉県立大学 中田 眞由美 [noma@spu.ac.jp](mailto:noma@spu.ac.jp)

**メモ1.** 『NOMA手・上肢機能診断』の手順、記録紙、用具の詳細は、『NOMAハンド・ラボ』HP <http://www.noma-handlab.com/> に公開されています。

**メモ2.** 絶版となっていた『手のかたち 手のうごき』(鎌倉 矩子 著、医歯薬出版、1989)は2009年4月からオンデマンド出版として復刻されました。  
 ↳詳しくは『オンデマンド万能書店』<http://www.d-pub.co.jp/>

